

授業科目

レクリエーション指導論

| | | | | |
|--|--------------------------------------|-----------|-------|------------------------------|
| 【担当教員名】 小田切 毅一 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 言語 林 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |
| 【<概要>又は<一般目標：GIO>】 レクリエーション指導をするに当たって必要な、基礎的な理論と原理を学ぶとともに、レクリエーションを必要とする現代生活の多様な局面に応じて、レクリエーションを指導・管理するための基礎的教養を身につける。 | | | | |
| 【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】 1. レクリエーションやレクリエーション運動について理解できる 2. 現代社会におけるレクリエーション指導の意義について説明できる 3. 産業・職場論とかかわるレクリエーション指導の要請に応える基本的説明が出来る 4. 余暇行動論とかかわるレクリエーション指導の要請に応える基本的説明ができる 5. 福祉社会論とかかわるレクリエーション指導の要請に応える基本的説明かできる | | | | |
| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | | | SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1 | レクリエーションの基礎論：レクリエーションとは？ | | | |
| 2 | レクリエーション、その遊び論的広がり | | | |
| 3 | 社会運動としてのレクリエーション（1）：モデルとしてのアメリカの事例など | | | |
| 4 | 指導・管理される遊び＝レクリエーション | | | |
| 5 | 人間関係論の視野からみたレクリエーション指導 | | | |
| 6 | 産業・職場論の視野からみたレクリエーション指導 | | | |
| 7 | 余暇行動論の視野からみたレクリエーション指導 | | | |
| 8 | 福祉社会論の視野からみたレクリエーション指導 | | | |
| 【使用図書】 | <書名> | | <著者名> | <発行所> <発行年・価格・その他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | 授業の際に、適宜資料を配付 | | | |
| 参考書 | 藺田碩哉『遊びと仕事の人間学』遊戯社 | | | |
| その他の資料 | | | | |
| 【評価方法】 出席および小レポート(毎時間)：50%、 期末試験：50% | | 【履修上の留意点】 | | |

言語聴覚学科 専門